

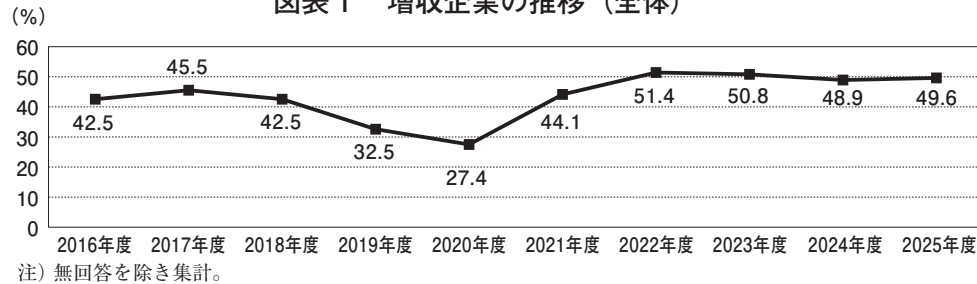
東京都中小企業収益動向調査

－ 2025年度の収益動向と2026年度の収益見通し－

1. 2025年度の売上高の状況

2024年度（令和6年度）と比較した2025年度（令和7年度）の売上高の状況は、増加した企業（以下、「増収企業」という）が49.6%、減少した企業が50.4%となった。前回調査と比べて増収企業の割合は0.7ポイント増加した。

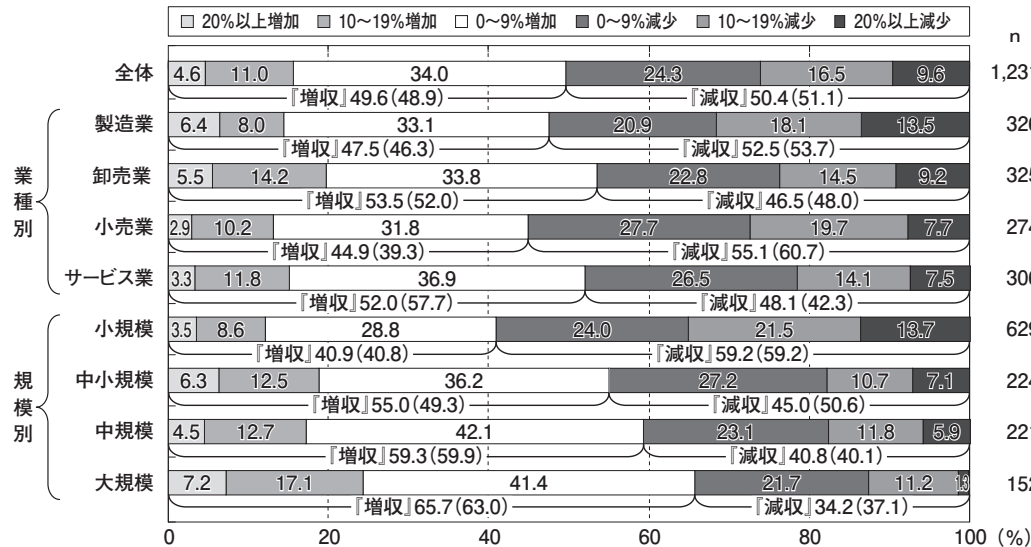
図表1 増収企業の推移（全体）



業種別にみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は増収企業の割合が増加し、なかでも小売業は44.9%（前回調査39.3%）と5.6ポイント増加した。

規模別にみると、規模が大きくなるほど増収企業の割合が高くなり、大規模は65.7%（同63.0%）となった。

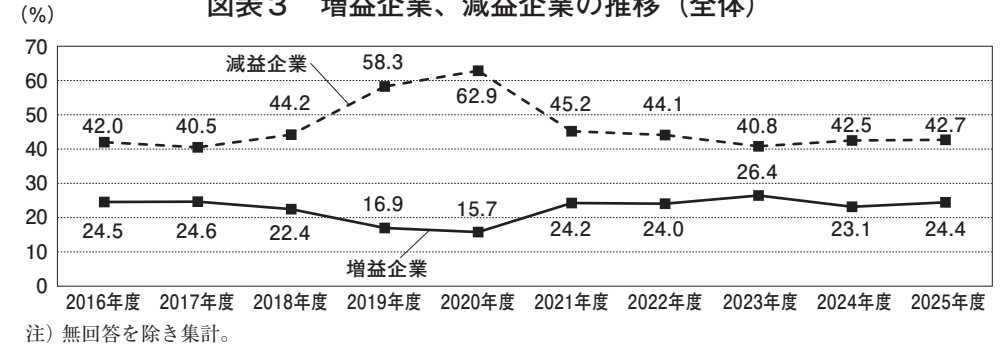
図表2 2025年度の売上高の状況（業種別・規模別）



2. 2025年度の経常利益の状況

2024年度（令和6年度）と比較した2025年度（令和7年度）の経常利益の状況は、増加した企業（以下、「増益企業」という）が24.4%、減少した企業（以下、「減益企業」という）が42.7%となった。前回調査から増益企業と減益企業の割合はともにほぼ横ばいで推移し、依然として減益企業が増益企業を上回っている。

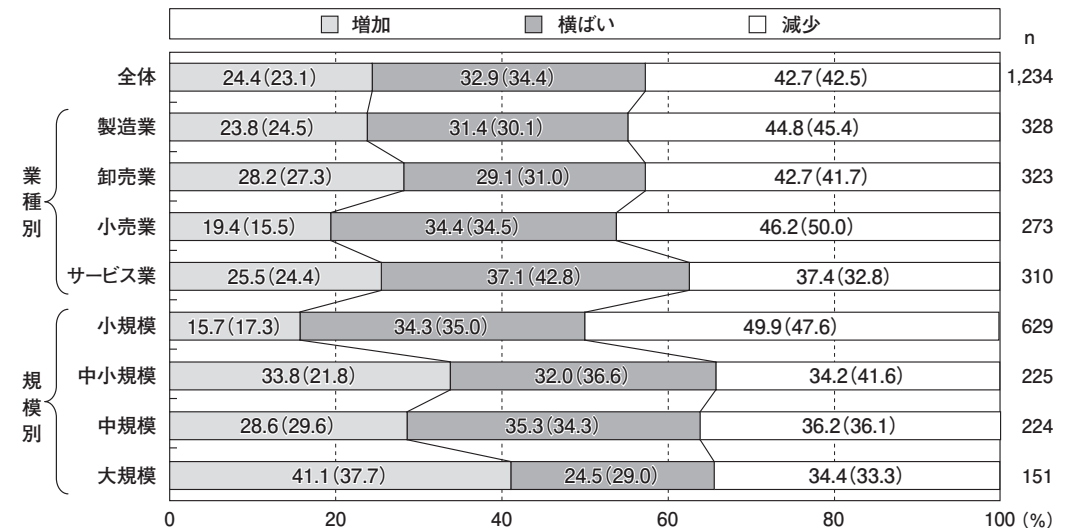
図表3 増益企業、減益企業の推移（全体）



業種別にみると、前回調査と比べて増益企業の割合は小売業が19.4%（前回調査15.5%）と3.9ポイント増加、サービス業は25.5%（同24.4%）と1.1ポイント増加、卸売業は28.2%（同27.3%）と0.9ポイント増加した。

規模別にみると、小規模は増益企業の割合が15.7%（同17.3%）と1.6ポイント減少し、減益企業の割合が49.9%（同47.6%）と2.3ポイント増加した。

図表4 2025年度の経常利益の状況（業種別・規模別）

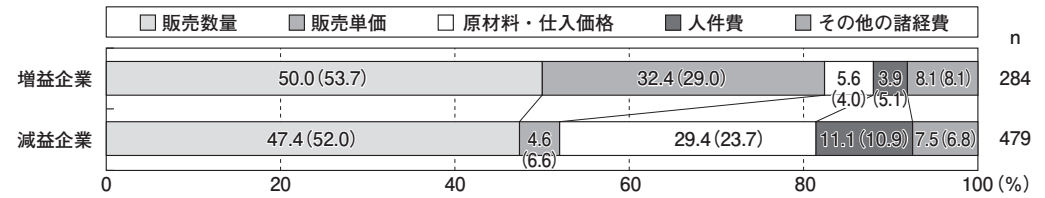


3. 経常利益増減の主な要因

2025年度（令和7年度）の経常利益増減の主な要因を増益企業でみると、「販売数量」が50.0%（前回調査53.7%）と最も高く、次いで「販売単価」が32.4%（同29.0%）となった。前回調査と比べて「販売数量」は3.7ポイント減少し、「販売単価」は3.4ポイント増加した。

また、減益企業でみると、「販売数量」が47.4%（同52.0%）と最も高く、次いで「原材料・仕入価格」が29.4%（同23.7%）となった。前回調査と比べて「原材料・仕入価格」は5.7ポイント増加し、「販売数量」は4.6ポイント減少した。

図表5 増益、減益企業別の経常利益増減の主な要因

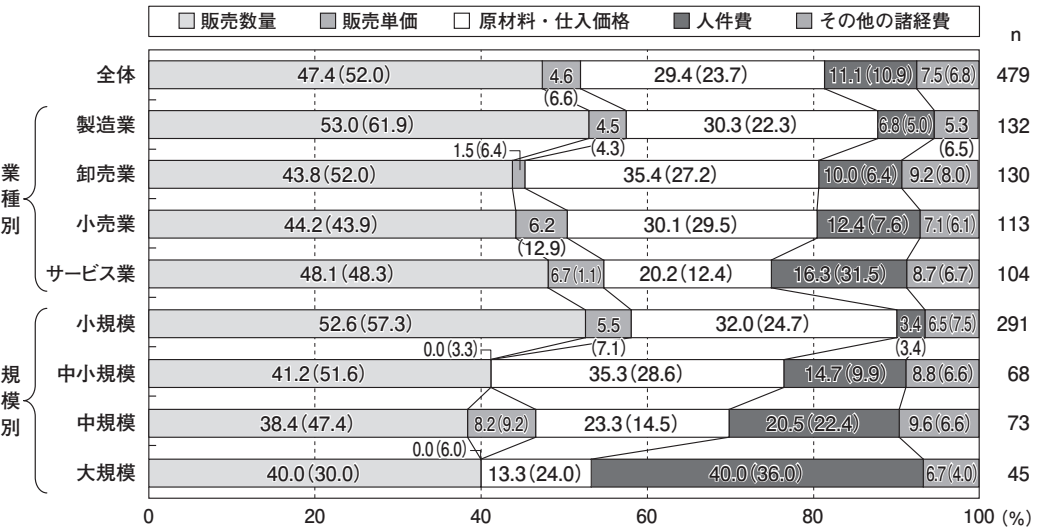


注) 無回答を除き集計。()内は前回調査(令和7年9月)の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

減益企業における経常利益減少の主な要因を業種別にみると、前回調査と比べて全ての業種で「原材料・仕入価格」が増加し、なかでも卸売業は35.4%（同27.2%）と8.2ポイント増加した。他の業種に比べて製造業は「販売数量」が53.0%（同61.9%）と高い。

規模別にみると、他の規模に比べて大規模は「人件費」が40.0%（同36.0%）と高い。

図表6 経常利益減少の主な要因（業種別・規模別）

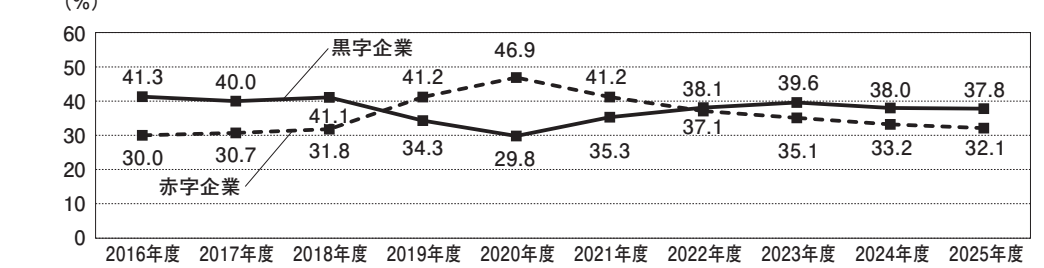


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和7年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

4. 2025年度の採算状況

2025年度（令和7年度）の採算状況は、黒字企業が37.8%、赤字企業が32.1%となり、4年連続で黒字企業が赤字企業を上回った。

図表7 黒字企業、赤字企業の推移（全体）

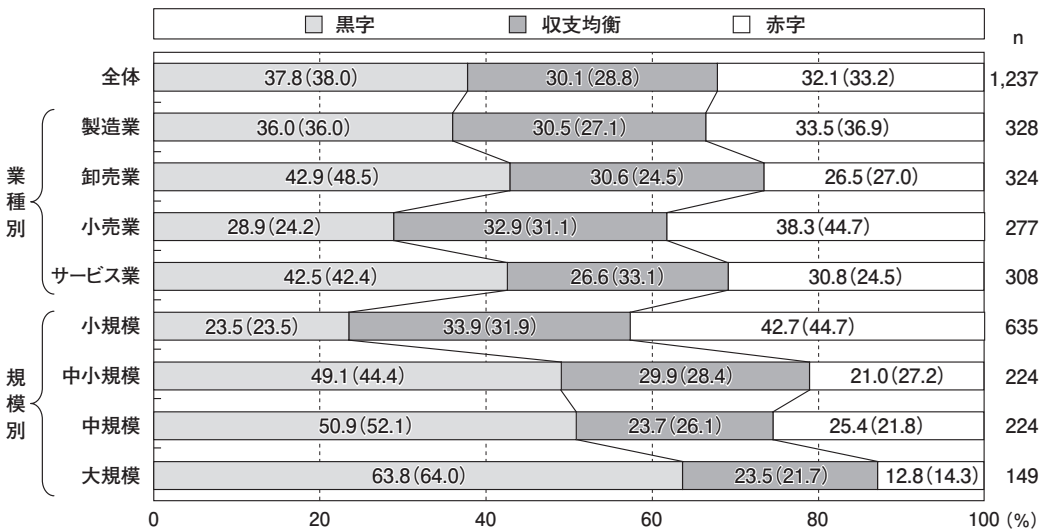


注) 無回答を除き集計。

業種別にみると、小売業は「黒字」が28.9%（前回調査24.2%）と4.7ポイント増加し、「赤字」が38.3%（同44.7%）と6.4ポイント減少して採算状況が改善した。他の業種に比べて卸売業は「黒字」が42.9%（同48.5%）と高い。

規模別にみると、規模が大きくなるほど「黒字」が高くなり、大規模は「黒字」が63.8%（同64.0%）となった。

図表8 2025年度の採算状況（業種別・規模別）

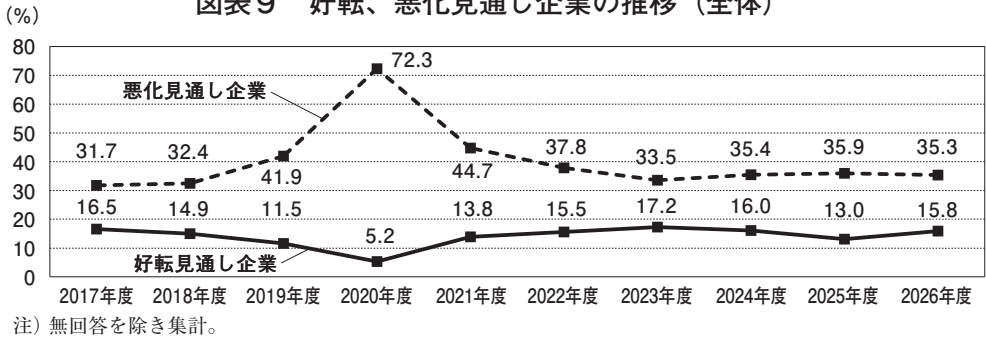


注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。()内は前回調査（令和7年9月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

5. 2026年度の収益見通し

2026年度（令和8年度）の収益見通しは、好転見通し企業が 15.8%、悪化見通し企業が 35.3%となった。前回調査と比べて好転見通し企業の割合は 2.8ポイント増加し、悪化見通し企業の割合は 0.6ポイント減少した。

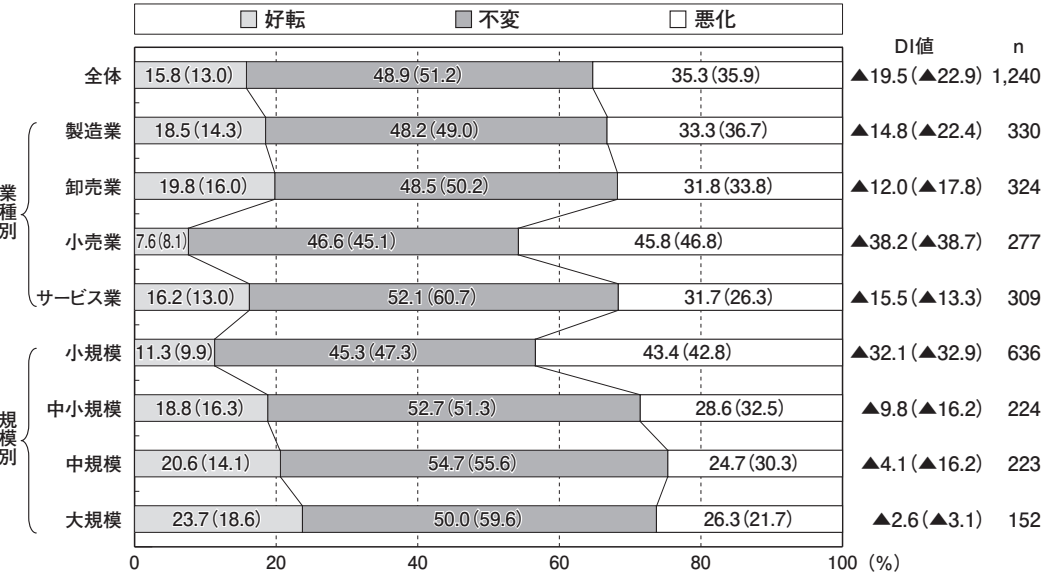
図表9 好転、悪化見通し企業の推移（全体）



業種別に収益見通しをDI値（好転－悪化）でみると、前回調査と比べて製造業、卸売業、小売業は改善した。なかでも製造業▲14.8（前回調査▲22.4）は 7.6ポイント増加した。

規模別に収益見通しをDI値でみると、前回調査と比べて全ての規模で改善した。なかでも、中規模▲4.1（同▲16.2）は 12.1ポイント増加した。

図表10 2026年度の収益見通し（業種別・規模別）



注) 無回答を除き集計。規模別は規模不明を除く。() 内は前回調査（令和7年9月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。